

令和2年度第1回朝霞市産業振興基本計画推進委員会 次第

日時 令和2年8月7日（金） 午前10時

場所 朝霞市役所 大会議室（奥）

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）計画の評価について

①施策評価

②リーディングプロジェクトの評価

4 その他

5 閉会

【配布資料】

次第

資料1 施策評価シート

【参考資料】

- 朝霞市産業振興基本計画推進委員会傍聴要領
- あさかばる
- あさかの逸品
- あさか野菜 de ベジグルメ
- 朝霞市ワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度
- 女性創業事例紹介資料
- 地域を元気にするために（商工会関係書類）

朝霞市産業振興基本計画
施策評価シート（令和元年度）

施策の方向性	1 暮らしにマッチした生活環境の創造		
目指す姿	市の拠点エリアを中心に、商業等の賑わいの核となる場所づくりを進め、市民や来街者等のライフスタイルに応じた新たな生活環境の創造を目指す。		
1-1 市民等で賑わう拠点づくり			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商工関連イベント集客数【11万人】 ・空き店舗の活用件数【0件】 ・空き店舗の活用に向けて、先進地である豊島区や志木市へ視察し、補助金制度の設計等の準備を進めた。 		
達成状況	市民等で賑わう拠点となる商工イベントとして、黒目川花まつりやアートマルシェ、北朝霞どんぶり王選手権・産業フェアを支援し、11万人の集客を達成した。また、空き店舗活用に向けた新規制度実施の準備を進めた。	判定	C
1-2 個店や商店街の魅力アップ			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内商店会活性化推進事業件数【22件】 ・個店の魅力をPRする取組件数【4件】 ・商店街店舗数【158件】 ・新たに朝霞駅前商店会において実施されたイベントである「ふれあいまつり」に対し補助金の交付をはじめとした支援を行い、商店街の魅力アップを推進した。 		
達成状況	商店街の魅力アップに資する事業として、市内商店会活性化推進事業22件に対して補助金の交付を中心とした支援を実施した。また、個店の魅力をPRする取組として、「あさか野菜deベジグルメ」や「あさかバル」など4件を実施するなど、商店街や個店をPRする場をつくることはできた。	判定	C
1-3 市民の買い物環境等の向上			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・買物施設等誘致件数（累積）【0件】 ・小売業売場面積【59,510㎡】 ・商店会加入店舗数【361件】 <p>市内にカインズホームを中心とした商業施設参入にあたって、商工会へ情報を提供し買い物環境等の向上に係る内容について、情報共有を推進した。</p>		
達成状況	新たな買い物施設として、市内にカインズホームを中心とした商業施設の参入が予定されており、買い物環境の向上は見込めるものの、直接的な支援による店舗等の誘致や利便性の向上には至っていない。	判定	D
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<p>賑わいの創出となるべく市内空き店舗の解消と情報不足や買い物環境の向上に係る具体的な方策に課題がある。</p> <p>来年度の方向性として、1-1及び1-2については、新たにスタートした店舗等リフォーム資金補助金を活用し、空き店舗の解消と既存店舗の魅力アップを推進しながら、市内商店会や商工会とこれまで以上に情報交換や考え方を共有するなど連携を深め、事業に反映していく。また、1-3については、買い物環境の向上に向けて必要な取り組みについて、情報収集を進めていく必要がある。</p>		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B:計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

1-1 市民等で賑わう拠点づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	空き店舗の 活用件数	—	0件	1件	1件	1件	2件
		0件	0件				
※ 成果指標	小売事業所数	—	505事業所	510事業所	515事業所	515事業所	520事業所
		502事業所	—	—		—	—
成果指標	商工関連イベント 集客数	—	110,000人	115,000人	115,000人	120,000人	120,000人
		108,000人	110,000人				

1-2 個店や商店街の魅力アップ

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	個店の魅力をPRす る取組件数	—	4件	4件	4件	4件	5件
		4件	4件				
※ 成果指標	商店街店舗数	—	160件	160件	163件	163件	165件
		158件	—	—		—	—
成果指標	市内商店会活性化 推進事業実施件数	—	22件	22件	23件	23件	24件
		22件	22件				

1-3 市民の買い物環境等の向上

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	買物施設等誘致件 数（累積）	—	0件	1件	1件	1件	2件
		—	0件				
※ 成果指標	小売業売場面積	—	60,000㎡	73,000㎡	73,500㎡	74,000㎡	74,500㎡
		59,510㎡	—	—		—	—
成果指標	商店会加入店舗数	—	367件	370件	370件	375件	375件
		367件	361件				

※総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。次回の調査は令和3年度に実施予定です。

推進委員会の 評価	
--------------	--

施策の方向性	2 安心・安全な市民生活を支える産業の活性化		
目指す姿	市民の関心が高い「安心・安全」のニーズに応え、豊かな生活の実現に寄与する環境・サービスの創出を、各エリアの特性を踏まえながら進めていく。		
2-1 生活を支え高めるサービス機能の強化			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや医療・福祉等の市民生活を高める産業の事業者への融資実行【2件】 ・保育業界への就職に繋げるためのセミナーの開催【1回 参加人数41人】 ・セブンイレブン・ジャパンと協定を締結し開催した就職相談会【1回 参加人数13人】 		
達成状況	令和元年度融資件数自体が少なかったこともあり、子育てや医療・福祉等の市民生活を高める産業事業者からの融資申請は目標を下回ることとなった。 保育業界への就職に繋げるためのセミナーを開催した。今後も継続的に開催していきたい。	判定	D
2-2 コミュニティ・ビジネスの育成			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家育成支援セミナーの開催【3回 参加人数41人】 ・起業家育成支援相談の実施【35件】 		
達成状況	起業・創業を目指す方を対象とした起業家育成支援相談は、目標値を超える人数の利用があった。市内で起業を考えている方等を対象とした起業家育成支援セミナーについても、多くの方に参加いただいている。今後、コミュニティ・ビジネスの実施を検討する方向へのセミナーの開催を検討していきたい。	判定	C
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<p>空き店舗を活用した起業を希望する人などに対する補助金として、令和2年度より「店舗等リフォーム資金補助金」を実施する。コミュニティ・ビジネスを生業として起業する方とこの補助金利用を結び付けられれば、市内における新規コミュニティ・ビジネス立ち上げにも繋がると考えられるので、その方策について検討したい。また、すでに実施している起業家育成相談や起業家育成資金融資は、コミュニティ・ビジネス立ち上げに向けたサポートに有用な事業であるため、活用いただけるようPRを行っていく。</p> <p>また、保育業界への就職に繋げるためのセミナーを開催することができた。今後も継続して開催していけるよう、関係機関と協働していきたい。</p>		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B:計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

2-1 生活を支え高めるサービス機能の強化

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	子育てや医療・福祉等の 市民生活を高める産業事 業者への融資件数	—	8件	8件	9件	9件	10件
		7件	2件				
※ 成果指標	サービス事業者数（宿泊 業、飲食サービス業、生 活関連サービス業、娯楽 業、教育・学習支援業、 医療・福祉）	—	1,235事業所	1,240事業所	1,245事業所	1,250事業所	1,255事業所
		1,231事業所	—	—		—	—
成果指標	保育業界への就職に 繋げるためのセミ ナーの開催	—	1回	1回	1回	1回	1回
		0回	1回				

2-2 コミュニティ・ビジネスの育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	起業家育成支援セ ミナー参加人数	—	36人	38人	40人	42人	45人
		31人	41人				
成果指標	支援による新規コ ミュニティ・ビジネ スの立ち上げ件数 (累積)	—	0件	0件	1件	1件	1件
		0件	0件				

※総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。次回の調査は令和3年度に実施予定です。

推進委員会 の評価	
--------------	--

施策の方向性	3 社会環境の変化に呼応した新たな産業の創出と育成		
目指す姿	社会環境の変化やトレンドを踏まえ、AIやIoT等の技術も視野に入れながら、新たな産業の創出や同業種・異業種間のネットワーク化を推進する。		
3-1 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成			
令和元年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業や専門技術サービス業等の事業者へ融資【3件】 ・生産性向上特別措置法に係る企業認定による設備投資の促進【13件】 		
達成状況	先端技術等における産業モデル創出や新産業等のインキュベーション施設の整備について検討をする機会を持てなかったが、企業融資を継続して実施し、新たな技術に関する導入やものづくり等研究開発について支援をおこなった。	判定	C
3-2 あさかにマッチした企業誘致と産業集積の推進			
令和元年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地の産業活用の検討【1件】 ・一般国道254号線と光富士見バイパスの有効的な活用の検討【1回】 ・旧朝霞第四小学校跡地利活用【1件】 		
達成状況	市有地である旧朝霞第四小学校跡地の利用に関し、事業用定期借地権設定契約を締結し、他の市有地でも利活用が行えるよう、今後のノウハウを蓄積した。 また、東A地区土地区画整理事業の支援や地区計画等による産業基盤整備については、区画整理事業の進展に合わせて進めていく必要がある。	判定	C
3-3 産業ネットワーク基盤の創造			
令和元年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究機関と商工会との懇談【1回】 ・あさか産業フェアを開催【1回】 		
達成状況	技術交流会やイベント等による事業者マッチングの場づくりに関し、実施することができませんでしたが、既存事業として、商工会支援や商工会による事業者交流事業に関して支援を行った。	判定	C
解決するべき課題・来年度に向けた方向性	市有地に研究機関が立地することが決定され、民間企業と商工会との懇談が行われた。これを契機に協力関係の強化に向けて、両者での協議を推進する必要がある。 また、同業種や異業種交流の機会づくりの創出のため、商工会と調整をする必要がある。		

■施策の進捗に関する各指標

3-1 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	製造業、学術研究、専門・技術サービス等の事業者への融資件数	—	3件	3件	3件	4件	4件
		3件	3件				
※ 成果指標	製造業、学術研究、専門・技術サービス等の事業者数	—	500事業者	502事業者	505事業者	507事業者	510事業者
		500事業者	—	—		—	—
成果指標	生産性向上特別措置法に係る企業認定による設備投資の促進	—	13件	13件	13件	14件	14件
		—	13件				

3-2 あさかにマッチした企業誘致と産業集積の推進

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	産業集積に係る土地利用のための庁内検討会開催回数	—	1回	1回	2回	2回	2回
		—	1回				
成果指標	関連の取組による市内への事業所誘致件数（累積）	—	1件	1件	1件	1件	2件
		—	1件				

3-3 産業ネットワーク基盤の創造

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	展示会等の開催回数	—	1回	1回	1回	2回	2回
		1回	1回				
成果指標	商工会組織率	—	56%	56%	57%	58%	59%
		56%	54%				

※総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。次回の調査は令和3年度に実施予定です。

推進委員会の評価	
----------	--

施策の方向性	4 市民に身近なあさか都市農業の確立		
目指す姿	都心からのアクセスの良さを生かした都市農業の推進と、市民に身近で付加価値の高い、あさか農業の確立を目指す。		
4-1 都市農業の推進と担い手育成			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する研修会等参加数 【31人】 ・認定農業者数【28経営体】 ・「あさか野菜deベジグルメ」【新規参加店舗数 3店舗】 ・農業祭を開催し、市内農業のPRやイメージアップを図った。 【農業祭来場者数 6,500人】 ・浜崎農業交流センターで朝霞産農産物を直売【開所日 152日】 ・市役所ロビーで「朝霞新鮮野菜市」を開催。【13回】 ・農業委員会において生産緑地地区の追加指定に係る農地認定をした。 【12筆 6,468㎡】 		
達成状況	「あさか野菜deベジグルメ」の取組を通じ農産物のPRや新メニューの開発を行い地産地消の強化を図った。また、農業の積極的な担い手である「認定農業者」も計画どおり増加する見込みである。	判定	B
4-2 農地の多面的機能の促進と市民とのふれあいの機会づくり			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会による農地パトロール【パトロール日数 延べ100日】 ・遊休農地解消率 【45%】 ・市民農園の管理運営【8農園 556区画】 ・市内農業に対する理解を深めてもらうため、農業体験事業をおこなった【実施農業体験事業数 5事業 参加者1,631人】 ・農業者向けに「農業だより」を発行【3回】 		
達成状況	農地パトロールの強化に取り組み、遊休農地化しそうな農地の農家に働きかけを行った。また、農業体験事業等を通じ市民が農業にふれ、農業に対する理解を深められた。	判定	D
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<p>朝霞市商工会やJAなどの関係機関との連携を強化し、さらなる地産地消の推進と意欲ある農業の担い手を確保する必要がある。</p> <p>また、引き続き農地パトロールを強化していくとともに、農業委員による農家への遊休農地解消に対する働きかけや相談等を強化し、農地の保全や集約化に取り組んでいく必要がある。</p>		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

4-1 都市農業の推進と担い手育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	農業振興に係る研修会等の参加者数	—	26人	28人	30人	32人	35人
		25人	31人				
成果指標	認定農業者数	—	26経営体	27経営体	28経営体	29経営体	30経営体
		25経営体	28経営体				

4-2 農地の多面的機能の促進と市民とのふれあいの機会づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	農地利用最適化推進活動	—	120日	120日	150日	150日	180日
		120日	100日				
成果指標	遊休農地解消率	—	46%	47%	48%	49%	50%
		45%	45%				

推進委員会からの評価	
------------	--

施策の方向性	5 産業人材・産業基盤を強化する総合的な支援の充実		
目指す姿	地域経済を支える小規模事業者・中小企業が、今後も事業を維持、拡大できるよう、経営や事業承継を支援することで産業基盤の総合的強化を目指す。また、新たな産業の芽となる起業の促進を進め、同時に業種や規模によって異なる人材ニーズに対し、本市の産業を支える人材を確保し、育成していくとともに働きやすい環境づくりを推進する。		
5-1 産業基盤の強化に向けた取組推進			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市中小企業融資制度による、中小企業への資金融資の実行 【27件】 ・朝霞市商工会による経営や事業承継等に関する相談の実施 【3, 271件】 ・個人住宅リフォーム資金補助金制度による、市内業者の利用の促進 【115件】 ・生産性向上特別措置法に係る企業認定による設備投資の促進（再掲）【13件】 		
達成状況	既存の事業を中心に基盤整備に向けた進捗が図れている。今後においては、国や埼玉県と連携をして、更なる取り組みを推進していく。	判定	D
5-2 起業しやすい環境づくり			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家育成支援相談の実施 【35件】 ・市の支援を受けて起業した件数 【9件】 ・起業家育成支援セミナーの開催 【3回 参加人数41人】 		
達成状況	起業を希望する方を対象とした相談事業やセミナーを随時実施し、起業しやすい環境を整えたが、目標達成に至らなかった。今後も広く周知し、市内での起業希望者を増やしていきたい。	判定	D
5-3 産業を支える人材の確保・育成			
令和元年度事業内容	<p>朝霞公共職業安定所や県の関係機関と連携し、集団就職面接会を開催することなどにより、市内での人材確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した集団就職相談会の開催 【3回 参加人数137人】 ・市の支援を受けて就職した人数【12人】 ・就職支援セミナーの開催 【2回 参加人数33人】 ・内職相談の実施 【99回 相談人数157人 あっせん件数15件】 		
達成状況	面接会を含む就職相談会を3回開催することができた。また、朝霞公共職業安定所と連携した就職支援セミナーについても新たに開催し、多くの参加者を得ることができた。今後も多くの方に参加いただけるよう、世の中のトレンドを研究していきたい。	判定	A
5-4 働きやすい環境づくり			
令和元年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度の創設準備 ・労働社会保険相談の相談件数 【20件】 		
達成状況	ワークライフバランスの推進に取組む企業の認定制度を令和2年度から実施する土台を整備することができた。	判定	C
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	施策5-3及び5-4については、これまでの取組からプラスαの事業を実施または実施する準備をすることができたが、施策5-1及び5-2については、硬直状態にあり、来年度に向けて国や県などの関係機関の動向を注視し、連携し推進できる事業を模索していく。		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

5-1 産業基盤の強化に向けた取組推進

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	中小企業融資実行件数	—	54件	55件	56件	57件	58件
		53件	27件				
※ 成果指標	民営事業所数	—	3,580事業所	3,600事業所	3,600事業所	3,600事業所	3,650事業所
		3,580事業所	—	—		—	—
成果指標	商工会による経営や事業承継等に関する相談実施件数	—	3,360事業所	3,370事業所	3,380事業所	3,390事業所	3,400事業所
		3,352事業所	3,271事業所				

5-2 起業しやすい環境づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	起業家育成相談件数	—	40件	40件	40件	40件	45件
		31件	35件				
成果指標	市の支援を受けて起業した件数	—	10件	11件	12件	13件	15件
		9件	9件				

5-3 産業を支える人材の確保・育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	就職相談会（合同）開催件数	—	1回	1回	2回	2回	2回
		—	3回				
成果指標	市の支援を受けて就職した人数	—	5人	7人	9人	10人	11人
		4人	12人				

5-4 働きやすい環境づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
活動指標	ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	—	—	5事業所	10事業所	15事業所	25事業所
		—	—				
※ 成果指標	市内民営事業所従業員数	—	41,000人	41,000人	41,700人	41,700人	41,700人
		40,923人	—	—		—	—
成果指標	労働社会保険相談の相談件数	—	20件	21件	22件	23件	24件
		17件	20件				

※総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。次回の調査は令和3年度に実施予定です。

推進委員会の評価	
----------	--

プロジェクト名	1. あさか起業×リノベーション・プロジェクト		
概要	暮らしのニーズにマッチした小売・飲食・福祉・子育て等の商業・サービス業等に係る起業者が、商店街をはじめとする市内の空き店舗等を活用して事業を開始し、また、展開していくことを地域ぐるみで支援するための仕組みづくりを行います。		
関連施策	◎1 暮らしにマッチした生活環境の創造 ○2 安心・安全な市民生活を支える産業の活性化 ○5 産業人材・産業基盤を強化する総合的な支援の充実	判定	C
令和元年度の取組と達成状況	空き店舗の活用や起業融資の実行には至らなかったが、起業家育成支援セミナーや起業家育成相談事業等については、一定の利用があった。また、空き店舗活用として、先進である豊島区や志木市を視察し情報収集を行うとともに、空き店舗を活用した起業支援として、店舗等のリフォームに係る工事費の一部を補助する制度のスタートに向けて準備を進めた。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	起業するということが自体が高いハードルであることに加え、空き店舗の活用にあたって、空き店舗所有者の意向によっては、賃借できないなど、いくつかの課題がある。まずは、市の各種制度の利活用をPRするとともに、商工会や商店会と連携を深め、情報収集を進めていく必要がある。		
推進委員会の評価			

プロジェクト名	2. あさか型企業誘致プロジェクト		
概要	市内の低・未利用地や一般国道254号和光富士見バイパス沿道地域等での産業基盤整備の検討を行うとともに、都市型産業等のターゲット業種を絞るなど、本市の特性に合った企業誘致や産業集積の推進を図ります。		
関連施策	○2 安心・安全な市民生活を支える産業の活性化 ◎3 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成	判定	C
令和元年度の取組と達成状況	市有地である旧朝霞第四小学校跡地の利用に関し、事業用定期借地設定契約を締結し、他の市有地でも利活用が行えるよう、今後のノウハウを蓄積した。また、国道254号線バイパス周辺等の未利用地の有効活用のための庁内検討会議をおこなった。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	市街化調整区域の未利用地等の有効活用に関して、都市計画所管課との意見交換を図る。また、区画整理事業の進捗状況にあわせて都市型産業の誘致を推進できるよう都市計画所管課との連携強化を図る。		
推進委員会の評価			

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

プロジェクト名	3. あさか野菜の地産地消プロジェクト		
概要	あさか野農業協同組合の本店移転を契機として、市民・農家・JA・朝霞市商工会・行政が協力し、市民と生産者が交流できる場づくりを行います。また、新たな需要を創造するため、あさか農産物の高付加価値な商品開発やプロモーションを行うとともに、市民や事業者等と協働して地産地消の取組を実施します。		
関連施策	○1 暮らしにマッチした生活環境の創造 ◎4 市民に身近なあさか都市農業の確立	判定	C
令和元年度の取組と達成状況	多くの市民が、農業祭に会場し生産者と交流したり、農業体験の参加や市民農園の利用を通じて農業にふれることにより、市民が農業への理解を深める機会となった。また、「あさか野菜deベジブルメ」を展開し、飲食店と生産者が協働し、地元野菜を使ったメニューを開発するなど、地産地消への取り組みを進めた。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	あさか野農業協同組合等関係機関との連携を強化し、農業者の意欲の向上と市民の都市農業への理解を深め、さらなる地産地消の推進への取り組みを図る必要がある。		
推進委員会の評価			

プロジェクト名	4. あさかで働こうプロジェクト		
概要	働きやすい職場づくりを実践する市内事業者を市が表彰等を行うとともに、そのPRに取組むことで、市民の市内での就職と定着を後押ししていきいます。併せて、埼玉県・朝霞公共職業安定所・民間の人材マッチング事業者等とも協働し、市内の潜在求職者の発掘に向けてセミナーや相談会、マッチング等を行い、事業者と求職者をともに支援できる体制を構築していきいます。		
関連施策	○3 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成 ◎5 産業人材・産業基盤を強化する総合的な支援の充実	判定	C
令和元年度の取組と達成状況	本プロジェクトの目玉事業であるワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度の創設に向けた準備を進めることができた。また、朝霞公共職業安定所と連携した就職支援セミナーを新たに毎月開催するとともに、面接を含む就職相談会も3回実施することができた。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	来年度からのワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度の開始に向けた準備を整えることができたが、本制度が実質的な意味合いを持つものとなるよう、市内企業への周知等について、関係機関と連携しながら進めていく。 就職支援事業については、参加者数が伸びないことが懸念である。広報の方法の見直しを図るとともに、直接就職に繋がるような面接会の開催や世の中のトレンドにマッチした内容のセミナーを開催するなど、事業内容について検討していく。		
推進委員会の評価			

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況